



JIC インフォメーション

第 212 号 2021 年 2 月 5 日

特別号・JIC 留学セミナー報告

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪・ロシア留学デスク: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 谷町スリースリースビル 7F TEL: 06-6944-2341

はりねずみのジェーニャ



ロシア・旧ソ連
国際交流誌

【報告】JICロシア語留学オンラインセミナー2020

ロシア現地の声を聞く

～ペテルブルグとモスクワから

12 月 5 日、JIC ロシア語留学セミナーをオンライン開催しました。

2020 年は新型コロナの感染拡大で各国の入出国制限が続き、海外留学を中断して帰国した人、予定通り出発できなかった人、留学を諦めた人など、困難な状況が多数発生しました。ロシア語留学を 30 年間にわたって続けてきた JIC にとってもこれは全く初めて直面する問題でした。それでも JIC ではコロナ下でロシアに居残った留学生をサポートし、またロシア語圏で唯一受け入れを続けているベラルーシに 9 月留学生を 5 名送り出すなど、ロシア語留学事業を継続してきました。

オンラインセミナーでは、JIC 留学チームのリーダー小西章子が『新型コロナ下でのロシア語留学』を全般的に説明し、JIC モスクワ事務所所長のイリーナが『モスクワ市のコロナ対策と市民生活』、サンクトペテルブルグ大学で日本語教師をしている荒川好子さんが『今どきのロシア人学生と日本人留学生に求められるもの』、JIC ペテルブルグ現地連絡員の山下篤美さんが『ロシア留学中のお役立ち情報』などを報告しました。司会は JIC 留学チームの岡本健裕が担当しました。

セミナー参加者は 60 名以上。終了時間が予定より大幅に延びたにもかかわらず、半数以上の参加者が最後まで残って JIC スタッフの報告と質疑応答に熱心に耳を傾けました。

以下、JIC ロシア語留学セミナーの報告をお届けします。なお、報告中のコロナ感染者等の数字およびロシア政府や日本政府の対策、現地情報は、2020 年 12 月 5 日時点のものです。それから 2 カ月が経過し、数字も事態も変化していますし、これからも変化することが予想されます。

<http://www.jic-web.co.jp>

JIC ロシア語留学オンラインセミナー2020 <全報告>

新型コロナ下でのロシア語留学～現状と見通し
…………… 小西 章子 ……2P

今どきのロシア人学生と日本人留学生に求められるもの
…………… 荒川 好子 ……5P

モスクワ市のコロナ対策と市民生活

…………… チスティーリナ・イリーナ ……8P

ロシア留学中のお役立ち情報…………… 山下 篤美 ……10P

ミンスク言語大学、ウラジオストク極東連邦大学の状況
…………… 柳沢 昭子 ……12P

質疑応答(司会: 岡本健裕)……………13P

JIC では、Jクラブ(JIC 友の会)会員を募集しています。
年 4 回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

【報告 1】

新型コロナ下でのロシア語留学～現状と見通し

小西 章子 (JIC ロシア語留学チーム・リーダー)

皆さんこんにちは！ JIC でロシア語留学チームのリーダーをしている小西です。はじめましての方も、何回かお話しした方もいらっしゃると思いますが、本日はよろしくお願いいたします。

まず JIC について簡単に紹介しておきます。JIC では留学生をロシアに派遣したり、ロシア旅行の企画や手配をしたりしているのですが、留学生数だけで言うと、これまで 31 年間やってきて 4000 人以上の留学生をロシア・旧ソ連地域に送り出しています。残念ながら今年はコロナの影響でごく少なかったのですが、毎年、長期・短期合わせて約 200 人の留学生を送っています。JIC の留学チームは私を含め 4 名で、全員留学経験があります。また、現地でサポートしてくれるスタッフがロシア 3 都市（モスクワ、ペテルブルグ、ウラジオストク）にいます。後ほどモスクワとペテルブルグのスタッフが報告してくれますので、楽しみにしておいてください。

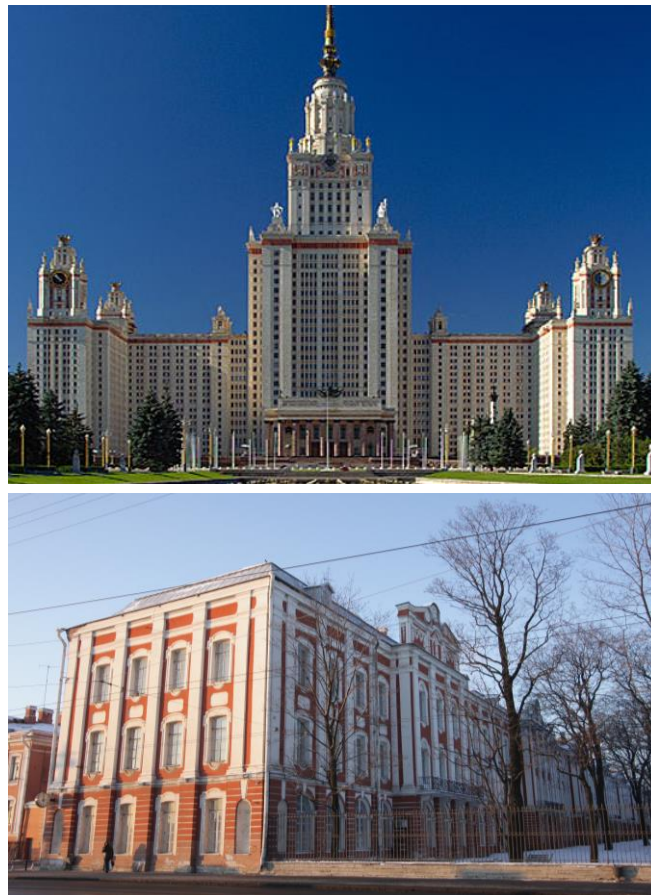
今日は、新型コロナウイルスの影響で留学を延期しなければならなかった方やこれから留学を考えておられる方々の、「実際に留学できるのか」、「どこに行くといいのか」、「いつできるのか」といった疑問に答え、今後の留学計画を検討し適切に決めていただくヒントになるような情報をお伝えできたらいいなと思っております。

JIC ロシア語留学の紹介

JIC のロシア語留学は大きく 4 つに分けられます。①10 か月などの長期間にわたる長期留学、②一週間から行ける短期研修、③あらかじめ出発日と帰国日が決まっているグループ研修旅行、④その他、上記どれにも当てはまらない研修、以上の 4 つです。

まず長期留学ですが、私たちは 3 か月以上の留学を長期留学と呼んでいます。ロシアのモスクワ大学、ペテルブルグ大学、ゲルツェン教育大学、ウラジオストク極東連邦大学、それにベラルーシのミンスク国立言語大学について、年 2 回、4 月出発と 9 月出発の募集を行っています（留学期間と出発時期は比較的融通がききます）。最近はこちら以外の大学への留学を希望される方も結構増えてきており、個別に希望の大学の留学条件などを問い合わせたりして、個人留学のお手伝いもしています。

短期研修は 1 週間から 3 か月までのロシア語研修です。短い期間で集中的にスキルアップしたいという方に向いています。部活で忙しい学生さんとか、休みが短い社会人の方とか、



(写真) 上、モスクワ大学本館、下、ペテルブルグ大学

いろんな方にご利用いただいています。研修先はモスクワ、ペテルブルグ、ウラジオストク、ハバロフスク、イルクーツク、ラトビアのリガなどで、大学もあれば私設の語学学校もあります。研修先によってそれぞれ特徴があるので、ご本人の希望内容——例えば、授業のスタイル（個人レッスンかグループ授業か）、住居の条件（学生寮、アパート、ホームステイなど）、それから授業で何を集中的に学びたいか、といった内容によって研修先を選ぶことになります。

グループ研修は JIC が企画している研修ツアーです。あらかじめ出発便や帰国便、現地プログラムを決めて、春休みと夏休みの時期に募集しています。ロシア語を学び始めたばかりの方とか、海外渡航経験があまりない方でも、比較的安心して参加していただけるツアーになっています。研修ツアーの目玉は、現地で日本語を学ぶロシア人学生と交流できるということで、これがロシア語実践の場として非常に有効で、参加者の皆さんから好評をいただいています。もちろん、空き時間には観光ツアーもついています。

その他というのは、日本の大学の先生やロシア語関係の方

からの依頼を受けて、JIC がロシア語研修プログラムの作成や現地サポートなどの手配代行を行っているものです。また、ロシア政府やロシアの大学が作った研修プログラムの募集を日本の受付窓口として代行させていただくこともあります。こういったものが JIC の留学事業に含まれています。

新型コロナの留学への影響

新型コロナウイルス感染症はロシア語留学にも大きな影響を及ぼしました。

【日本政府の渡航中止勧告】

まず一つ目は、感染が世界中に広まったことによって、日本政府から海外渡航に関する様々な規制が発出されました。2020 年 4 月以降、「感染症危険情報レベル 3」＝渡航中止勧告が、ロシア・旧ソ連地域を含めて全世界の国・地域を対象に出されました。この勧告は法的な拘束力はないのですが、事実上ほぼすべての人が海外渡航を取りやめにするほど大きな影響がありました。同時に、新型コロナの水際対策によって、来日した外国人あるいは海外から帰国した日本人に 14 日間の自己隔離義務が発生しました。これらの規制を受けて日本国内の大学の多くは、留学中の学生に帰国指示を出し、また留学を予定している学生には留学を中止ないし延期するよう指示を出しました。結局、2020 年の春から秋にかけて留学を予定していた人は、ほぼすべて断念せざるを得なくなりました。2 月や 3 月に出発した人の中には、現地到着後一か月もしないうちに帰国しなければならなかった方が何名もいらっしゃいます。帰国後も 14 日間、公共交通機関が使えないため空港近くのホテルで過ごさなければならなかった方もいらっしゃいました。

【留学先国の出入国規制】

ロシアは 3 月 18 日から日本人を含むすべての外国人の入国を一時禁止しました。同時にロシア入国ビザ取得のための招待状の発行を停止しました。大使館・領事館でのビザ発給業務もすべて一時中止となりました。この時点で、ロシア留学はストップしてしまいました。

ベラルーシは、新型コロナウイルスの発生以降、日本人に対する入国禁止措置を実はこれまで一回も取っていません。ただし、日本を含めて感染者が発生している国からの渡航者に対しては入国後 14 日間の自己隔離義務を課しました。これは 3 月 25 日から実施された措置ですが、ベラルーシに留学した人は、到着後 14 日間ベラルーシ政府が指定する宿泊場所に滞在して健康観察を受けることが必要になりました。

【航空便の運休】

日本の航空会社はもちろんのこと、全世界の航空会社が国際線の運航をほぼすべて停止しました。ベラルーシは日本人に対して入国禁止措置を取っていなかったのですが、実際に渡航手段がなくなってしまったために留学の道が一時閉ざされました。

感染の急拡大で世界が一番混乱していた 3 月～4 月には、予約した航空便が飛ぶのか飛ばないのなかなか決まらず、直前にフライトキャンセルされる事態が多発しました。キャンセルされるとすぐに代わりの便を探さないといけないし、変更手数料が発生するしで、本当に振り回されました。

【授業のオンライン化】

ロシアでもそれまでは大学の授業と言えば当たり前に対面授業だったのですが、この新型コロナでほとんどの大学や語学学校の授業がオンラインレッスンに切り替わりました。日本でも事情は同じですが、留学生活と言えば現地の大学に通って他の学生と交流したり、放課後どこかに遊びに行ったりということが普通ですが、それができなくなりました。

オンラインレッスンが始まった 3 月、4 月のころは大学側も準備不足のまま急にオンラインレッスンを開始したために、さまざまな不具合が発生したようです。留学生にとっては、授業を受けるために Wi-Fi 設備やネット環境を整えるところから始める必要があったので、それも大変だったと思います。現地に留まった人は今ではもう皆さんオンラインにも慣れてスムーズに授業を受けていると聞いています。

コロナ下での生活が長期化するにつれて、大学側も独自にオンラインレッスンを充実させる方向に舵を切り始めており、今ではいろんな大学が多様なオンラインレッスンコースを用意して提供するようになっています。

【生活上の様々な規制】

コロナ対策によって現地生活にも様々な規制がかかりました。各都市とも厳しい外出制限が敷かれ、自由に街を歩くことができなくなりました。娯楽施設や観光施設、レストランもほぼクローズされ、家に毎日こもる状況が続きました。ロシア語を使ったコミュニケーションを実践する場が減ってしまったわけです。

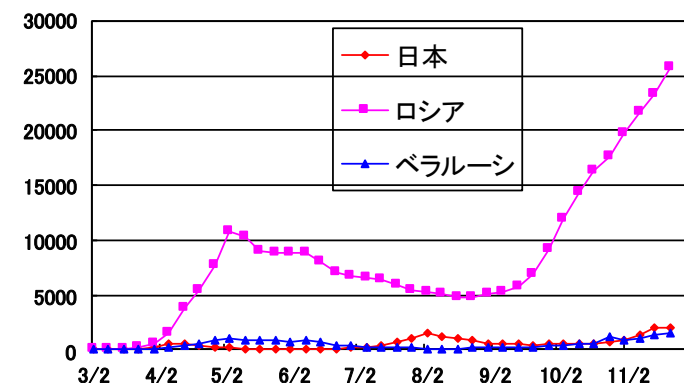
このような困難な状況の中で、JIC スタッフがこの春に何をやっていかといいますと、とにかく緊急事態ですから、そのトラブル処理と現地に残っている留学生のサポートに走り回っていました。留学中止および早期帰国の手続き、学生寮からの退去、授業料の返金手続き、臨時航空便の予約手配、大学からの諸連絡（とくにオンライン授業）の再確認、また航空便運休による滞在延長手続きなどです。

平常時で何も無い時であれば、留学生の皆さんは多分自分でやることのできたと思うのですが、今回のような非常事態の下では、皆さんどうしていいかわからず、受入大学と留学生との間に入って、連絡や手続きの代行をかなりたくさんやりました。実際に、大学が閉鎖されて校舎に入れないし、学校事務局もテレワークになって適時必要な情報が得られないことが多々あり、現地の留学生の方々は非常に不安な思いをしていました。必要な手続きをせずに帰国してしまうと返金

されるはずの授業料も返ってこなくなったりするので、やはりその点では、JIC としては留学生を送り出すだけでなく、滞在中もしっかりサポートするという役割をある程度果たせたのかなと思います。

JIC のような団体を通さず個人で留学されていた人は、かなりいろいろと苦労されたようです。

ロシアでの感染状況の推移と現状



【1日あたり新型コロナウイルス新規感染者数の推移】出典:WHO

グラフは、日本とロシアとベラルーシの一日当たりの新型コロナウイルス新規感染者数の推移を表したものです。日本が赤、ピンクがロシア、青がベラルーシです。ピンクの線が突出しています。11月末現在でロシア全土で一日に25,000人くらいの感染者が出ています。ベラルーシの青い線は日本とあんまり変わらない高さ（感染者数）ですが、人口が日本の10分の1以下ですから、人口当たりの感染者数では日本の10倍以上ということになります。

日本の11月30日時点での直近1週間平均の新規感染者数は2107人で、人口10万人当たり11.44人でした。実際には都道府県別で結構差があって、例えば北海道は28.57人、大阪26.60人、東京21.03人といった数字になりますが、全国平均だと11.44人になります。

これに対して、ロシアは全国平均で125.47人です。ベラルーシは116.29人。ロシアとベラルーシの感染状況は実際にはあまり差がない数字が出ています。ロシアはすごく広い国なので都市別でも出してみました。モスクワで359.32人、ペテルブルグで456.56人ですね。ウラジオストクを含む沿海地方は84.37人となっています。いずれにしても日本よりは感染者数が大変多い状況です。

新型コロナウイルス規制の緩和状況

新型コロナウイルスが発生してから出されていた規制は、その後どの程度緩和されたのでしょうか。一部はそのまま継続中ですが、緩和されているものもかなりあります。

まず日本政府が出しているロシア、ベラルーシへの渡航中

止勧告（感染症危険情報レベル3）は依然として継続されています。また、海外から日本に入国する時の14日間自己隔離義務も基本的にまだ継続しています。

一方で、ロシア政府は11月1日から日本人に対するロシアビザ発行手続きを再開しました。これに伴って、ロシア側受入機関の招待状発行業務やロシア領事館でのビザ申請・発給業務も再開されています。渡航にあたってPCR検査の陰性証明書を持参する（あるいは入国後すぐにPCR検査を受けて陰性であること）とか、日本からロシアへの直行便を必ず利用するといった条件はついているのですが、日本人のロシア入国は可能になっています。

ベラルーシに関しては、これまでも入国制限はなかったのですが自己隔離義務がありました。最近はこの自己隔離義務も解除されています。ベラルーシはほぼ通常の状態に戻っています。

航空便は、日本とロシア間の定期便が一部再開されています。4月以降は月1回程度飛ぶ臨時便（チャーター便）以外は全面運休していたのですが、この11月からモスクワ東京間が週2便、ウラジオストク東京間も週1便で、フライトスケジュール組まれるようになりました。ベラルーシには日本からの直行便はもともとありませんが、イスタンブール経由やドバイ経由などいくつかのフライトが再開しています。

大学の授業ですが、ベラルーシのミンスク言語大学では今年（20年）4月以降もずっと対面授業が行われています。ウラジオストクの極東連邦大学ではオンライン授業になっていたのですが、現在は対面授業に戻っています。モスクワ大学とサンクトペテルブルグ大学では今もオンライン授業が行われています。対面かオンラインかは今後の感染状況によって変更される可能性があります。

ロシア語留学を検討中の方へ

最後のテーマに入ります。今後ロシア語留学を検討されている方のために、いつから留学に行けるのか、どこの大学に行けるのか、どんな受入条件になるのかといったことを、各自判断していただく材料として少しまとめてみました。

【長期留学】

- ・ベラルーシのミンスク言語大学、ウラジオストクの極東連邦大学では対面授業が行われています。
- ・モスクワ大学、サンクトペテルブルグ大学、ゲルツェン教育大学はオンライン授業です。
- ・ロシアもベラルーシもビザの発給は現在特に問題はありません。
- ・渡航手段は、選択肢は少ないですが、週1便ないし2便程度のフライトが再開されています。

仮に留学で渡航した場合、入国後14日間は授業に出席せず健康観察を受けて、再度PCR検査で陰性が確認されてから授業に参加することが推奨されています。

つまり、ちょっと強引ではありますが、留学の意志と周囲の理解があれば、長期留学できる状況に徐々に戻ってきているということです。ただし、授業が対面になるかオンラインになるかは、現地の感染状況によって変わってきます。また、感染拡大の状況によっては現地で外出制限や都市封鎖といった強い対策が再びとられることも考えられます。この状況で敢えて長期留学するかどうかは、慎重な判断が必要です。

【短期研修】

- ・研修先によっては対面授業が行われています。オンラインのところもあります。
- ・渡航スケジュールは、今のところは週 1 回程度の運航フライトに合わせる必要があります。

留学ビザで渡航する場合にはロシア入国後 14 日間授業に出席しないことが推奨されています。もう一つネックになるのは、日本帰国後の 14 日間自己隔離義務が継続していることです。渡航できる期間が 1 週間とか 2 週間しか取れない方にとっては、実際問題として行くのは難しい状況ですね。

ただし、現地の語学学校の中には、最近は大学もそうですが、外国人向けのオンラインコースを用意しているところがあって、それがかなり充実してきました。JIC が提携している語学学校のオンラインコースでも、日本から参加しやすい

時間帯のコースが沢山あります。これはビザを取る必要がないし、手続きも簡単ですので、興味があれば問い合わせみてください。

語学学校のオンラインコースには以下のようなものがあります（時間はすべて日本時間です）

●ペテルブルグ：Derzhavin Institute

「週末ロシア語会話 60 分」毎週土曜日 18:00-19:00

「ロシア語読解&聴解 90 分」毎週火曜日 15:00-16:30

●モスクワ：Liden & Denz

「フレックスコース 100 分」週 2 日 15:00-16:40

最後に一つ、現役の大学生の皆さんに対する注意事項です。先ほどロシアでもベラルーシでも、「その気になれば留学できる」状況になっていると申し上げましたが、日本で所属しておられる大学で留学の許可条件が別途設けられている場合が多くあります。実際に、この春に感染症危険情報レベルの 3 が発出された時点で留学を中止して帰国するよう指示した大学がかなりありました。現地の受入条件とは別に、日本側の大学で留学が許可されるかどうか（また、単位認定されるかどうか）はしっかり確認しておく必要があります。大学に内緒で留学に行くといったことはしないようにお願いします。

【報告 2】

今どきのロシア人学生と日本人留学生に求められるもの

荒川 好子（サンクトペテルブルグ国立大学東洋学部日本学科・教師）

サンクトペテルブルグ国立大学東洋学部日本学科の荒川と申します。本日はロシア留学経験者として、また大学教員として日露学生交流を応援する立場からお話させていただきます。

簡単な自己紹介～ロシア在住 23 年目です

まず簡単に自己紹介ですが、セミナー紹介文にはロシア在住 25 年となっていますが、実際には私がロシアに留学したのは 1998 年で、正確には今年でロシア在住 23 年目となります。

留学に来た時には私のロシア語レベルは日常会話以下のお粗末なものでした。日本で知り合ったロシア人の家族を頼って全く個人で手続きをして留学しました。その時、外国人寮に JIC の留学生が 5 人ほどいて、何もわからない私に親切にいろいろ教えてくれたのを今でも覚えています。今でもそうですが、JIC 生はとても仲が良くてアットホームな感じでした。あの時の JIC 生もほどよい距離感でお互い助け合い支え合っているようでした。

その後、サンクトペテルブルグ国立大学文学部の修士課程で 2 年間学び、アスペラントゥーラで 2002 年から 2005 年まで 3 年間学び、2006 年 2 月に кандидат филологических наук という博士号を取得しました。いろいろな縁に導かれ、現在は母校の東洋学部日本学科で、日本でいう准教授のような立場でロシア人学生に日本語を教えています。目立った活動実績はありませんが、地道に民間外交に少しずつ貢献してきたという小さな自負を胸に、大学での活動のほかに大人子供問わず日本語や書道やそろばんなどを教えたりしながらなんとかロシアで頑張っています。

今どきのロシア人学生

普段は大学でロシア人学生に接していますので、まずは今どきのロシア人学生についてご紹介します。

とにかくロシア人学生は宿題が多くて勉強に忙しいです。小中高校でも宿題は多くて、これはロシアでは普通のことです。必然的に留学生も同じで、たくさんの課題を毎回与えられて留学生は宿題に追われます。覚悟しておいた方がいいと

思います。

勉強で忙しいので、アルバイトをしているロシア人学生はほとんどいません。働きながら大学に通っている学生は 4% しかないという調査結果もあります。ちなみに、日本人留学生は就業許可がないので、留学中したくてもアルバイトはできません。日本で貯金をして、ロシアでは思いっきり勉強や友達づくりに打ち込むというのがいいと思います。

2009 年に全国統一試験が導入されるまでは、私が教えるサンクトペテルブルグ国立大学の日本学科は、ほとんどがサンクトペテルブルグ出身の学生でした。しかし、最近は地方出身の学生が増えています。おそらく、他の大学でも同じような状況だと思います。日本人留学生にとっては、ロシア各地の出身の友だちができるチャンスですし、各地の状況を知ることができていいことだと思います。私も学生時代やロシア出身の学生の実家に遊びに行って、とても良くしてもらったことを覚えています。今でもやり取りをしている仲のいい友達です。

ロシア人学生のほとんどが銀行カードを使いこなしています。ある調査によると 84% の学生がカード保有者だそうです。クレジット機能ではなくて、銀行の口座に振り込まれている金額だけが使えるデビットカードです。サンクトペテルブルグでは、最近はどこでもカードが使えるのでとても便利になりました。でもその反面カード犯罪も多いので、日本人留学生は特に注意が必要です。

ロシア人学生が使う SNS は主に Вконтакте で、メッセージのような機能は Телеграм か WhatsApp を使っています。日本で一般的な LINE はロシアでは使えません。日本にいる間に、Вконтакте や WhatsApp を使えるようにしておくことをお勧めします。ロシア人学生と友達になるためにとても重要なツールだと思います。

それから、日本学科に限って言えば、以前はアニメオタクや熱狂的日本の学生が多くなりましたが、年々少なくなっています。一時期の「日本ブーム」は終わってしまった。別の面でいえば、日本がロシア人にとって身近な普通のものになったことを示しているのではないかと思います。2004 年にプーチン大統領の次女がサンクトペテルブルグ国立大学の日本学科に入学したころは、まだ「日本ブーム」でしたが、今では寿司もアニメもロシア人にとって特別なものではなくなっています。ネットを介して日本の映像や書籍も簡単に手に入る時代ですし、昔と違ってロシア人学生にとって日本人留学生はあまり特別な存在ではなくなっているようです。

モスクワの学生の生活

これは 2018 年のものですが、いろいろ調べた中でリアルな学生生活を紹介していると思ったサイトを、インターネットの情報からご紹介します。地方からモスクワに出てきた学生たちの生活費などについて書かれています。

2018 年の金額で、地方出身のロシア人新入生の生活費は 1 か月 2 万ルーブル (20 年 12 月時点の交換レートで約 3 万円) 前後だそうです。切り詰めれば日本人留学生もこのくらいで生活できると思いますが、実際のところ留学生はもう少しかかるのではないかと思います。写真もありますので是非見てください。

⇒ <https://journal.tinkoff.ru/moscowstudent/>



(写真) 授業風景

今のロシア

現在のロシア社会について、現地から見た様子を少しお話ししたいと思います。

まずロシアは、1990 年代に崩壊・低下してしまった教育水準を向上させるために今、若者の教育に力を入れています。大学生はとてもガッツがありますし、生き生きしています。皆さんもロシアの大学に来たらロシア人学生に声をかけて友だちを作ってください。きっとお互いを高め合えるいい仲間ができると思います。今の若者たちが国を動かすリーダーになる頃には、ロシアは国際的にもっとも力のある国になるだろうと私は思っています。ですから皆さんもこれからロシア語の勉強頑張ってください。

ロシアでもデジタル化が進んでいて、最近はカードだけではなくスマホでどこでも支払いができるようになっています。ネットショッピングも普通に使えます。その反面、繰り返しになりますが、カード情報や個人情報の管理は日本よりいっそうに厳重にする必要があります。

出稼ぎ労働者が主に旧ソ連の中央アジア諸国からたくさん来ているので、特に大都市ではアジア人蔑視を感じることもあります。しかしもともと親日的な国なので、日本から来たというと「よく来たね」と言ってくれて歓迎してくれます。

経済面では中国市場の影響が絶大です。「日本ブーム」は終息してしまったように思います。私の大学でも、10 年ぐらい前までは日本学科が東洋学部の中で倍率が一番高かったのですが、今では中国学科に負けてしまっています。寿司やアニメといった日本ブームは終息しましたが、自動車や家電などの日本製品へのロシア人の信頼は今でも絶大です。

為替ではコロナ前より日本人留学生に有利になっています。コロナ前は、500 ルーブルが日本円の 1000 円ぐらいの感覚でしたが、今は 700 ルーブル使っても 1000 円ぐらいの

価値になっています。

活発化する日ロ交流

ロシアに進出している日系企業の数、2016 年帝国データバンクの数字では 314 社でした。2019 年秋の JETORO 調査によるともう少し少なくなっている感じですが、約 300 の日系企業が進出しています。アンケート調査では 68.3% の企業が 2019 年は黒字見込みであると回答していますので、ロシアと日本の企業間の取引は上手く行っているのではないのでしょうか。

国家レベルの交流支援も非常に活発で、2018 年・19 年は日露交流年（ロシアにおける日本年／日本におけるロシア年）として、様々な文化イベントが行われました。引き続き 2020 年・21 年は日露姉妹都市・地方交流年ということですが、コロナ下でオンライン・イベントが行われるなどして、交流の火を消さない努力が続けられています。

日本人留学生に求められるもの

JIC のロシア語研修プログラムでは、ホームステイや文化イベントなどを組み込んだものがあり、日ロの交流にも一役買っていると思います。先ほど紹介があった JIC の短期グループ研修では、私も教え子のロシア人学生を日本人留学生との交流会に参加させるなど協力しています。

留学・研修というのはどうしても語学習得がメインになります。でも考えてみてください。言語はツール（手段）でしかありません。そのツールを使って、ロシアをより深く理解し、またロシアの変化を知り、日本へ持ち帰ることができる留学生が日露関係の将来を担ってくれたらいいなと、個人的には思っています。ロシアは急速に発展しています。政治も経済も、法律も財務システムもどんどん変わります。ですから、このロシアの変化に残されないスピード感と柔軟性がある人材が求められるのではないかと思います。

以上申し上げたことと、私のロシア生活の失敗を踏まえて、これから留学を考えている人にロシア留学を成功させるコツについて考えてみました。

ロシア留学を成功させるコツ

恥ずかしい話ですが、ロシア留学の私の最大の失敗は、きちんとした計画やビジョンがないまま、ただロシア語の勉強のためだけに留学に来てしまったことです。その結果、私は 10 ヶ月間の留学のつもりが、あっという間に 22 年も経ってしまったというわけです。

1. 渡航前に目標や目的を決める

みなさんにまずお勧めしたいのは、日本でしっかりと目的を決めてからロシアに来てくださいということです。どこに留学するにしても同じですが、これは重要ポイントだと思います。後でいくらでも軌道修正できるのですから、まずは「今

の」目的をはっきりさせることがとても大事だと、20 年前の自分を振り返って強く思います。

語学は所詮コミュニケーションのツールでしかありません。語学習得だけを目的にしてしまうと、私みたいなことになりかねないので、ぜひ反面教師にいただければと思います。

2. 優先順位を決める

次に、自分の中の好き嫌いをはっきりさせ優先順位を決めることも大事だと思います。日本ブームは去ったとはいえ、ロシアには根強い日本ファンの人がいて、自分がロシアを知ることよりも日本をロシア人に紹介する方につい力を入れてなくなってしまうからです。これからの日露関係には、日本人がロシアを知ることが日本の力になると私は思います。皆さんにも是非ロシア語を使ってロシアやロシア人をもっと知ってもらいたいと思います。

3. 自分からロシア人の中へ

ロシア語の授業は外国人クラスですから、学校の授業仲間だけでは外国人同士のつきあいになってしまいます。留学期間中に習い事などをして、ロシア人の中に入っていくことをお勧めします。ロシアの大学には、日本の大学のような部活動やサークル活動はほとんどありません。でも、市内には合気道や柔道のクラブがたくさんありますし、チェスのクラブや英会話クラブもいいと思います。少々ロシア語に自信がなくても、自分からロシア人の中に入っていく方法はいくらでもあります。私の日本学科のような学科が留学先の大学にあれば、日本学科のドアを叩いてみるのもいいと思います。喜んで授業に参加させてくれると思います。

4. 日本人ネットワークを確保しておく

同時に、ロシア人とのコミュニケーションだけではなく、日本人ネットワークもある程度確保しておいてください。日本人同士の情報交換は現地の生活情報を手に入れ、安全に生活するうえでも必要です。3 か月以上の留学の場合は領事館への在留届の提出もお願いします。新型コロナのような事態が起こった時に、領事館から在留邦人に流される情報は絶対に必要です。在留届の手続きはオンラインで簡単にできます。

5. 日本と比較し過ぎない

最後に、日本と比べすぎないということも心がけるといいと思います。

ロシアは急速に発展していて、生活もどんどん便利になっていますし、安全にもなっています。ですが、他の国への留学と比べると、まだまだハードルが高い国だと思います。どこの国でも日本に勝る国はないと思いますが、ロシアは他のヨーロッパ諸国に比べてもスーパーの店員は不愛想ですし、天気もどんよりしていますし、人も少し暗い感じがします。日常生活の面において、ロシアは勉強のモチベーションを維持するのが難しい留学先だと思います。私を含めロシアで生活している日本人はみんな結構ロシアの悪口や文句を言いな

から生活しています。つい「日本スタンダード」を求めてしまう癖が抜けなようです。

でも、それがあまりひどくて日本とロシアの違いが楽しめない人は、留学生活が精神的に苦痛なものになってしまい大変です。自分で自分を追い込んでしまうことになりかねません。是非違いを楽しむ心のゆとりを持って、留学生活を楽しんでいただきたいと思います。

さいごに

新型コロナについて一言だけつけ加えておきます。ロシア国民に対してロシアの医療は基本的に無料で提供されています。医療従事者の方々は責任と誇りをもってコロナと闘って

くれています。もともと風邪やインフルエンザがよく流行る国ですから、その対策は毎年きちんとしています。健康を自己管理する文化が元々あります。風邪を人にうつさないために学校や仕事を休むことは普通の事ですし、体調回復のための休みも会社で普通にとれます。しかも給料は保証されるというシステムがロシアにはあります。

ですからこれは個人的な期待ですが、ロシアの底力を信じたいと思います。ロシア人は自分の気持ちに正直で、思いやりがあつて人間味があり、頼りがいのある人たちです。

皆さんにもロシアで生活して、ロシア人の強さと良さを感じてもらいたいと思います。是非ロシアにいらっしゃってください。お待ちしております。

【報告 3】

モスクワ市のコロナ対策と市民生活

チスティリーナ・イリーナ（JIC モスクワ事務所所長）

ご存知の通り、2019 年 12 月に新型コロナウイルス感染症の発生が中国で報告されました。2020 年 1 月末に新型コロナはヨーロッパ各国へ拡大し、2 月初めに WHO（世界保健機構）は公衆衛生上の緊急事態＝パンデミックを宣言しました。最初は、新型コロナはロシアまで拡大しないとか、拡大してもそれほど大変にならないと考えるロシア人が多かったです。しかし、3 月 2 日に新型コロナの最初の感染がモスクワで確認されました。感染者はイタリアから入国した人でした。

3 月下旬、いきなり始まったオンライン授業

3 月 5 日にモスクワ市長は無期限高度警戒態勢を発令しました。中国、イタリア、スペインなどの感染流行地域から帰国する市民は、帰国日から 14 日間自宅での経過観察措置を義務付けられました。にもかかわらず感染者数は増え続け、より一層強い制限措置がとられることになりました。

最初に制限措置が導入されたのは教育機関でした。3 月 21 日から学校と大学が閉鎖され、オンライン通信教育が始まりました。オンライン授業は教師にも学生にも厳しい挑戦になりました。新しい技術を学ばざるを得ません。オンライン授業用のプラットフォームに登録してその使い方に習熟する必要があります。学生の SNS グループでは、「どうなるんだ?」「私の操作のどこが間違ってるの?」「君はどうやってる?」「画像が出てこない」、…といった文句が飛び交いました。みんなイライラしながら一日中パソコンの前に座りました。同じように苦しんでいた先生たちは無数の質問に電子メールで返信しなければならませんでした。しかし、

少しずつ慣れてきました。時間が経過すると、オンライン授業はそれほど悪いことではないと多くの学生たちは理解しました。

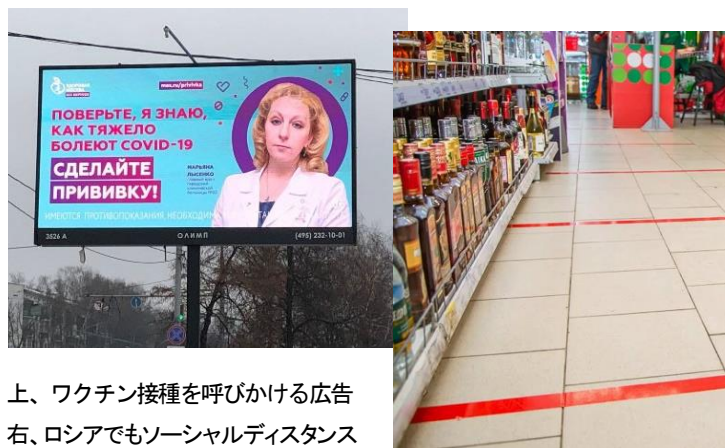
国境閉鎖、自己隔離措置

3 月末に新型コロナ感染拡大防止のため、国境を閉鎖しすべての国際航空便を停止にするとロシア政府は発表しました。JIC の留学生と多くの外国人学生たちは大急ぎで帰国せざるを得ませんでした。

3 月 26 日にモスクワで新しい制限措置が導入されました。65 歳以上の老人と慢性疾患を持つ人は自宅での自己隔離が義務付けられました。美術館や博物館が閉鎖され、劇場公演は中止になりました。ジム、プール、美容室、レストラン、カフェなども営業中止です（宅配サービスは含まず）。制限対象にならなかったのは薬屋と食料品店だけでした。コロナパニックになった市民は食料品を大量に買い始めました。多くの食料品店から蕎麦の実とかパスタ、缶詰が無くなりました。砂糖と小麦粉を大量に買い占めた人もいました。薬屋でもマスクと消毒剤の不足が発生しました。

3 月 30 日に自己隔離措置は年齢を問わず全モスクワ市民を対象に拡大されました。この時点からモスクワ市民は、必要な仕事のための出勤、緊急医療支援、食料品店・薬屋での買い物、ペットの散歩を除いて、外出禁止になりました。公共交通の利用、車での外出のためには電子パス（通行証）の所持が必要でした。違反者は 4000～5000 ルーブルの罰金です。4 月 16 日から、都市間移動のために電子パスが必要になりました。通行証には個人情報、目的地、外出目的を記載し

なければなりません。



上、ワクチン接種を呼びかける広告
右、ロシアでもソーシャルディスタンス

外出制限下で始まった新サービス

このような自己隔離措置は 4 月末までの予定でしたが、その後何回も延長され、6 月 9 日にやっと解除されました。様々な制限措置によって人生が止まりました。道路が空になって交通渋滞がなくなりました。食料品店は営業時間を変更して午後 10 時に閉店するようになりました。少し前までは考えられなかったことが現実になりました。

厳しい外出制限措置で、文化生活やいろいろな遊びがすべて無くなったと考える人がいるかも知れませんが、それは本当ではないです。博物館や劇場公演を自宅から見学できるようになりました。ボリショイ劇場とか中央青少年劇場とか、多くの劇場が YouTube チャンネルを登録しました。劇場のオンライン公演が配信されました。音楽家はInstagramで自宅ライブを行い、ジムはオンライントレーニングをやっていました。非接触デリバリーという新しいサービスも発生しました。配達する人は商品をドアの前に置いて、お客さんに電話、お客さんは買い物を受け取ります。

マスクにもようやく慣れてきた

新型コロナは経済のすべての分野に悪い影響を与えました。ロシアの失業率はパンデミック前の 4.7%から 6.4%に上がりました。ロシア旅行業界の 2020 年の損失は 6 千億ルーブル=80 億ドルに達すると言われています。

自己隔離措置が 6 月 9 日に解除されてから、モスクワ市民の生活は徐々にいつものスタイルにもどってきました。ショッピングモールやカフェ、レストラン、劇場、美術館などが再開しました。しかし、以前と違って交通機関や建物内では全員がマスクをする必要があります。東アジアの人々にとってマスクは普通だと思いますが、ロシア人はマスクをする習慣があまりなかったので、慣れるのに時間がかかりました。

国際航空便の再開 16 カ国

8 月からロシアは、トルコ、イギリス、タンザニアとの国際線の運航を再開し、アブハジアとの国境を開放しました。

ロシア人にとってトルコは人気のリゾート地です。多くの人が 8 月～9 月にトルコへ行きました。9 月にコロナ感染者数が少し増えたので、海外から帰国したロシア人は到着後 3 日間以内に PCR 検査の結果をネットで報告しなければならぬ決まりができました。

9 月、10 月に国際航空便の再開が拡大しました。11 月末現在ロシアは日本を含む 16 の国と国際線を再開しています。

9 月新学期スタート

9 月 1 日はロシアの新学年のスタートです。学校や大学は普通の対面授業に戻りました。といっても、学校の入口で全員が体温を測り、学生も先生もマスクをすることが必要になりました。地方からモスクワに戻った学生たちは、14 日間の経過観察の後 PCR 検査を受けて授業に出席できます。

9 月末から再び状況が悪化したため、ソビヤーニン市長は 10 月 5 日から再び 65 歳以上の人の外出制限、学校の 2 週間休みを決定しました。休校明けの 10 月 19 日から小学生は普通の対面授業に戻りましたが、中学校、高校の生徒はオンライン授業になりました。

感染者数の増加を踏まえて、モスクワ市長は新しい制限措置の命令書にサインしました。65 歳以上の人と慢性疾患を持つ人の自己隔離が義務づけられ、これらの人たちの無料交通パスがブロックされました。10 月 12 日から大都市の会社は全て社員の 30%以上を在宅勤務にさせることになりました。会社は毎週、モスクワ市長のポータルサイトに在宅勤務する社員数を報告しなければなりません。

厳しい制限措置の下でも市民生活楽しむ努力

感染者数の拡大が止まらなくなった 11 月には、モスクワ政府は再び厳しい制限措置をとることにしました。11 月 13 日から、レストラン、カフェ、クラブなどの夜営業（午後 11 時～午前 6 時）が禁止され、劇場、映画館、コンサートホールの観客数は定員の 25%までに制限されました。モスクワの大学は再びオンライン授業に戻りました。この制限は 21 年 1 月中旬まで続きます。

お正月のイベント、クリスマスマーケットやフェスティバルも中止になりました。レストランやクラブでカウントダウンパーティをやって新年を迎えることは、営業時間が午後 11 時までなので不可能です。

にもかかわらずモスクワ市内ではお正月飾りの準備が始まっています。お正月のイルミネーションはいつも通り 12 月中旬に装飾されます。11 月 27 日からモスクワの公園の大半でスケートリンクがオープンされました（入場券はネットで購入）。このように、モスクワでは新型コロナの下でも市民生活を楽しむため、さまざまな努力が続けられています。

最後に、現在のモスクワの様子について短い動画を用意しましたので観てください。

【報告 4】

ロシア留学中の現地お役立ち情報

山下 篤美 (JIC ペテルブルグ連絡員)

サンクトペテルブルグで留学サポートをしています山下です。今日のサンクトペテルブルグは最高気温が 2 度、最低気温がマイナス 1 度です。でも雪が全然なくて、なんか冬らしい気があまりしません。

先ほどイーラさんの話にもありましたが、この春先はペテルブルグもみんなパニック状態で不安に押しつぶされそうな毎日でした。3 月にこちらにいられた留学生の中には、本当にゆっくり荷物をほどく暇がないほど急いで帰国した方もいて、無事に送り出せるかどうかハラハラしました。私自身も仕事はほとんどリモートでしたので、スーパーに買い物に行かないような生活をしばらくしていました。

それからはだんだんと状況が落ち着いてきて、夏ごろは国内からの観光客がすごく多かったです。ネフスキー大通りは今年はさすがに外国人観光客はいなかったのですが、その代わりに国内の観光客が多くて、「あんまりいつもと変わらないなあ」という気持ちになってきて、みんな警戒心も解けて、これは新型コロナがどんな病気なのか分かってきたことも大きかったと思うのですが、全体的に少し落ち着いた状況になりました。

こちらに残って学習を続けてきた留学生が何人かいて、その人たちは国内旅行に行ったり、ロシア人と交流会をやったりしていました。知り合ったロシア人のダーチャに行って、バーニャに入れてもらったり、結構楽しんでました。大学の授業はずっとリモートが続いていたのですが、美術館、バレエ鑑賞、ホッケー観戦、趣味のクラブへの参加など、いつもと同じような留学生活を楽しんでいました。

しかし、残念ながら第二波のピークが来て、今ペテルブルグは他のどの都市よりも厳しい状況になっています。すでにイルミネーションの設置が始まっているのですが、年末のイベントは軒並み中止になるようで、折角の華やかな雰囲気が感じられなくなりつつあります。

でも、ロシア人って、今を楽しみたいという気持ちがすごく強いんですね。実は、私は日本語を教える仕事もしているのですが、私の学生の中には強者がいて、秋に入ってお日様が少なくなるとペテルブルグの町は暗くなって雰囲気がどんよりしてくるのですが、それが嫌だからと言ってトルコに 3 週間行って、そこからリモートで仕事をして私の授業も

受けたというロシア人がいます。こういうところは本当に、今を楽しみたい、人生を楽しみたいという気持ちの強さが日本人と全く違うと感じます。ロシアに住んでいて私が一番感じるのはそういうロシア人のメンタリティで、私はロシア人から多くを学んだなと思っています。もちろん日本人が日々いろいろなことに気を配りながら、真面目で緊張感のある生活をしているのはいいことなのですが、ロシア人の大胆で一見常識はずれに見える生活ぶりも悪くはないと思います。

今日は、ロシア留学の生活面について、荒川さんの話と少し重なるかもしれませんが、いくつかお話をさせていただきます。

<在留届> 日本人同士の交流も大事

まず、長期間こちらに滞在する人は、必ず日本領事館に在留届を出してください。それから日本人会にも入会していただきたいなと思います。コロナが始まってから、領事館からロシア国内の感染状況や行政機関が取っている規制措置、あるいは帰国のための臨時便の案内、帰国に際しての事務上の注意といった情報が頻繁に来るようになりました。緊急時の備えに日本領事館からの情報は不可欠です。

留学先に日本人会があるようでしたら、そちらにも参加されることをお勧めします。ロシアに留学しているのに日本人と一緒に行動するのは嫌だという考えもあるかもしれませんが、日本人同士の交流も実はすごく大事なものだとは思いますが、ペテルブルグにはトヨタとか日産といった大手の日本企業が進出しています。実際、日本にいとそういう企業の人と知り合いになるチャンスはほとんど無いと思うのですが、ここにいと直に話しをするチャンスがあるし、ロシアビジネスの実験の経験を聞くこともできます。また企業派遣の語学研修生の人もいるので、同じ留学生とはいえそれぞれ立場の違う人との交流から得るものは大きいと思います。

<健康> 自分を元気にする工夫

健康面について、これまで留学生の皆さんのサポートで一番多かったのは、やっぱり風邪とか腹痛ですね。こういう日常的な病気の常備薬はロシアでも買えますが、日本から持ってきておくとういんですね。珍しいのでは「親知らず」を抜歯したというのがあります。歯の治療は保険の対象外になっている場合が多いので、歯の検査と治療は出発前に済ませて来

られた方がいいと思います。

ペテルブルグは特にそうですが、冬が長い（日照時間が短い）国や地域に留学する人は、やっぱり天気が悪くて日が短いと気持ちが落ち込みがちになります。ちょっとした問題で留学生活が上手くいかないこともあるかと思いますが、そういう時に自分の気持ちを元気にしてくれるような、何かご機嫌になれるようなアイテムがあると重宝します。何をすれば自分を楽しくできるかということを知っておくことがすごく大事だと思います。ちなみに私はですね、スーパーへ行って新しい商品を探して試してみるのが、一番簡単に自分が楽しくなる方法です。

それからもし何か持病があって特定の薬を継続的に服用している場合は、事前にその薬がロシアに持ち込んでも大丈夫なものなのか確認しておく必要があります。薬によっては麻薬と同じ扱いをされて、ロシアに持ち込めないものがあります。以前、日本から送られてきた薬が通関で引っかかって受け取れなかったことがありました。

それまでと全く違う環境で長期間生活するわけですから、自分の健康管理は勉強以上に大変なことだと私は思いますし、留学の成果を上げるためにも一番大事なことだと思います。

<防犯> 一番多いのはスリ被害

在ペテルブルグ日本領事館によれば、2019 年の邦人被害件数はスリが 20 件、置き引きが 1 件です。何ととってもスリの被害が一番多いです。日本でスリに遭うなんてことは滅多にないと思いますけれども、ここペテルブルグでは邦人の誰かがスリに遭ったと聞いても全然珍しいと思いません。それくらいスリのテクニックもすごいです。まったく気がつかないうちに盗まれていることがあります。日本での感覚とは違いますのでくれぐれも注意してください。

近年はクレジットカードの盗難と不正利用が増えています。カードは 2 枚持ってきて、万が一に備えて別々に保管した方がいいと思います。

<お金の管理> 便利なズベルバンクのデビットカード

私は留学生の皆さんに、こちらのズベルバンク銀行で口座を開くようお勧めしています。こちらの電話番号と居住登録があれば学生でも口座を開くことができます。荒川さんから話がありましたが、口座を開くとデビットカードを作ることができます。カード情報を携帯電話に読み込ませて普段の生活では携帯電話で買い物の支払いをする人が多いです。ズベルバンクの口座に必要なだけ生活費を入れておいて、それを日常使いにしておくと盗難に遭ってもすぐに対応ができますし、残高が不足すれば日本から送金もできるので便利です。

ロシアは本当にキャッシュレス化が進んでいます。日本以上に進んでいると私は思います。どの店でもカードが使えます。カフェでコーヒー 1 杯から、文具店でノート 1 冊から、

ロシア人はカードでどんどん買い物します。最近はお年寄りでもカードを使っている場面が多いのでびっくりします。特にコロナの下では、現金を使って欲しくない、カードで支払って欲しいというスーパーが増えています。

ズベルバンクのカードは銀行のアプリをスマホにダウンロードする形になるので、不正利用されたらすぐ連絡が来ます。また、ズベルバンク同士だと電話番号だけでお金をやり取りする事もできます。私の娘は 14 歳の中学生ですが、中学生でもカードは作れます。だから、「帰りにちょっとパン買ってきて」とお金を送ったりできるし、ロシア人の友達とカフェでお茶を飲んだ時に誰かがまとめて払って「じゃあ後で送るね」という感じでこのアプリを使っていることもよくあります。

<通信> スマートホン

パソコンとスマホのおかげで通信手段は本当に便利になりました。

留学生の皆さんは日本のスマホを持ってきたいただいて構いません。こちらで SIM カードを買って使うことができます。通信料は 1 ヶ月千円くらいです。日本と比べてはるかに安いです。宿泊先にはほとんどすべて Wi-Fi が入っているので、情報量が大きいものはパソコンで見て、外を出歩くときはスマホのアプリで地図を見たり、メッセージを送ったりするという使い方になります。使い慣れたスマホがいいと思います。

しかし、問題は SIM カードフリーにできるかどうかです。以前にスマホを日本から持ってきた人で、契約した店まで行かないと解約できないという方がいて、困ったことがあります。その辺は日本にいる間にきちんと確認しておいてください。

それから短期研修で来られた方でスマホを持っていない人がいて、逆にステイ先のホストファミリーから「街中で連絡が取れないのは不安だから携帯を買って持ってくれ」と言われて、格安の携帯をこちらで購入したケースもありました。

<通信> SNS と便利なアプリ

最近では、電話をかけるよりも SNS を利用して連絡を取り合う方がずっと多いです。

ほとんどのロシア人が Вконтакте のアカウントは持っていると思います。書類や動画を送信するときには質が落ちないと言われている Telegram を利用する人が多いです。個人情報共有せず電話だけでグループチャットを作って連絡を取り合いたいときは WhatsApp を使うとか、もうちょっと出合いのチャンスを広げてくれるのは Instagram だとか、いろいろ意見があって、年齢とか用途に応じていくつかの SNS を使い分けているロシア人も多いようです。

それからロシアでは Yandex のアプリが何と言っても便利

です。とくに地図で自分が今どこにいるのか、ホームステイ先の場所はどこか、学校までどのぐらいかかるか、周辺の観光施設はどんなものがあるかといったことが本当に簡単に分かるので、短期間ロシアに滞在する場合でも前もってダウンロードしておく、すごく行動範囲が広がって時間も効果的に利用できると思います。

Yandex はタクシーやデリバリーサービス、食材の配達などもやってくれるのですが、コロナ下で特に Yandex のアプリを利用することが増えました。ズベルバンクのカードと連動させればキャッシュレスで何でも注文ができますし、すごく便利です。コロナに対応していろいろな新しいサービスを提供して、やっぱり Yandex は仕事が早いと感じます。

ロシア語以外にもやることは沢山ある

留学の第一の目的はもちろんロシア語の学習ですが、ロシア語以外にもやることはたくさんあります。

書道、武道、華道、折り紙、お琴、着付け、百人一首、囲碁、将棋、漫画、アニメ、写真、バレエ、けん玉、サッカー、ラクロス、ラグビー、アイスホッケー、歌、ヒップホップダンス、YouTube 作成、…これらはすべて私がこれまで見聞きした日本人留学生がペテルブルグで行った活動です。これは JIC 留学生だけではありませんけれども、自分で会話クラブを運営したり、和食のレストランと合同で日本文化を楽しむイベントをやったりして、ロシア人と一緒に楽しんだ人もいます。

ロシア語の勉強以外にどんなことをやりたいのか、ペテルブルグであるいは別の留学先でどんなことができるのか、日本にいるときにいろいろ考えてみたらいいのではないかと思います。

今は留学したくてもできない、コロナの終息が見通せず不安に思っている人も多いかと思いますが、留学というのは新しい世界の扉を開くことではあるけれど、今現に住んでいる日本の世界をちょっと別の方向に拡張することでもあるのではないかと思います。ですから、留学の前からすでに留学は始まっているという風に考えた方がいいと私は思います。今すぐには行けないけれども、逆に将来の留学に向けていろんな準備ができてラッキー！と考えて計画を立てておけば、間違いなく楽しい留学生活が送れると思います。

皆さん、お待ちしています。ペテルブルグへ来てください！



【補足】

ミンスク言語大学、ウラジオストク極東連邦大学の状況

柳沢 昭子 (JIC 留学チーム)

本日の報告で触れることができなかったベラルーシのミンスク言語大学とウラジオストクの極東連邦大学の状況について、ごく短く補足させていただきます。

ウラジオストク極東連邦大学

まず、極東連邦大学の基本情報です。大学のキャンパスはウラジオストクの町の中心部に旧校舎、中心部からバスで 1 時間ほど離れたルースキー島に新校舎があって、ロシア語の授業は旧校舎で行われています。しかし、大学寮はルースキー島の新校舎内にあるので、ルースキー島から毎日バスで町の中心部まで通わなければなりません。旧校舎の近くにも古い大学寮があって、空き状況によってはそちらの大学寮が留学生に割り当てられることもあるのですが、とにかく古い寮なので、町の中心部まで徒歩圏内にあるという立地の良さは別として、住み心地が大変悪いという問題があります。

極東連邦大学では、現在、対面授業が行われています。留学ビザ取得のための招待状発行も再開されていますので、留学は一般的には可能になっています。ただし、留学手続きは、コロナ以前にはなかった新しい条件が加わって少し煩雑になっています。例えば、留学希望者はかなり長いアンケートに答え、いくつかの同意書にサインしなければなりません。同意書の中には、「授業が急に対面からオンラインに変更される場合があります」といった項目もあります。

新型コロナの影響で手続きや受入条件はさらに変化する可能性があり、JIC にとっても手探り状態の面がありますが、希望者がいらっしゃれば是非お手伝いをして、一緒に乗り越えていきたいと思っています。

ミンスク言語大学

ベラルーシの公用語はベラルーシ語とロシア語です。ベラルーシでは国民の 7 割から 8 割がロシア語を日常会話に使っています。逆に、ベラルーシ語を正確に話すことができるのは国民の半分程度と言われたりもします。ロシア語とベラルーシ語で言語を巡る緊張状態はありませんので、ロシア語を学習する環境としてはベラルーシでもロシアと大差なく、高度なロシア語教育を受けることができます。ミンスク言語大学では通常通り少人数制の対面授業が行われています。

コロナに関連して補足すると、11 月 3 日からベラルーシ入国時に PCR 検査陰性証明書の持参が必要になりました。ベ

ラルーシ入国の 72 時間前以降に受けた検査の証明書が必要なので、日本から行く場合は出発の前日か当日に検査を受けて出発をしないといけないという点があります。

私自身はベラルーシにまだ行ったことがないのですが、渡航経験者に聞くと、街並みがとても綺麗で、自然が豊かで、ものすごく都会的というわけではないけれども、よい意味で田舎的な古き良き時代の雰囲気を感じられるそうです。

それから、今年（20 年）夏に行われた大統領選挙の結果を巡って、ベラルーシでは毎週抗議デモが行われています。警官とデモ参加者との小競り合いが日本でも度々報道されています。9 月～10 月に出発してミンスク言語大学に留学中の皆さんからは、デモはあっても日常生活に特別大きな支障はないと聞いています。ただ、安易にデモ見物に行き、トラブルに巻き込まれることがないよう注意をしていただきたいと思います。

モスクワ、サンクトペテルブルグ、ウラジオストクには JIC の現地係員がいて、到着時の入寮手続きや大学初日のオリエンテーションに同行してサポートしていますが、ミンスクには JIC の現地係員がいない点が他のロシアの大学と違ってきます。したがって、ミンスクに留学した人は、原則として何事も自力で乗り越えていただくという環境になります。ミンスクには日本大使館がありますし、現地の日本人同士の繋がりを大事にして協力し合っていただければと思います。とは言っても、JIC には現地で提携しているパートナー会社がありますし、ベラルーシ人の日本語通訳も確保していますので、本当に困った事態が起きたときにはその解決のお手伝いをすることが可能です。

【質疑応答】

【質問 1】 留学の費用はどれくらいかかりますか（複数の方から同様の質問）

【小西】 皆さん気にされるのは、授業料ばかりでなく、留学トータルでどれくらいお金がかかるのかだと思います。その観点では、モスクワやサンクトペテルブルグが一番高額になります。9 月から翌年の 6 月まで 10 ヶ月間留学する場合、授業料、寮やホームステイ、アパートなどの滞在費用、生活費、飛行機代と渡航費、忘れがちなのが海外留学保険料ですが、そういう費用も全部含めてざっくり言うと 200 万円くらいあればまず収まると思います。もちろん個人差はあって、しっかり自炊をする場合はずっと節約できますし、逆に外食中心で劇場にも頻繁に通ったりするならばもっと必要かもしれません。

ウラジオストクやミンスクは、モスクワやペテルブルグと比べると物価が安く、授業料そのものも、生活費も、寮の費用もだいぶ変わってきます。海外留学保険料は期間によって

決まるので同じですが、1 年間の留学はトータルで 120～130 万円くらいと考えていいと思います。これも個人差があるので多少は上下します。

【質問 2】 カザンなどの地方都市へ留学することはできますか。

【小西】 もちろんできます。ただ、JIC が常にその大学とやり取りしているわけではないので、担当者は誰か、窓口はどこかというところから調べる必要があります。留学するまでに多めに時間がかかりがちです。普段取り扱っている留学先であれば、手配に着手してから 2、3 ヶ月程度で出発できますが、それ以外の行き先の場合は調査のためにもっと早めに着手する必要があります。費用は調べてみないと分かりませんが、モスクワやサンクトペテルブルグより安くすむことが多いと思います。

【司会（岡本）】 行き先ごとの留学費用については、すべての疑問に答えられないかもしれませんが、もっと詳しく聞きたいという場合には、個別にお問い合わせくださいましたら後日お返事ができると思います。

【質問 3】 留学に年齢制限はありますか。中高年の方で留学した方はこれまでにいましたか。

【柳沢】 はい、60 代の方とか 70 代の方なども結構いらっしゃいます。そういった方たちの方が、非常に好奇心旺盛でよく勉強されるケースも多く、若い留学生の皆さんの刺激になっています。現地では全然珍しがられることもありません。私が学生の頃留学していた時も、そういう方がいらっしゃいました。安心して行っていただけます。

【質問 4】 現地で新型コロナに感染したときはどうすればいいのでしょうか。

【荒川】 私の周りではコロナにかかった人が少し出てきますけれども、幸い私たちは健康に暮らしていますので、正直、実際どうなのかは分かりません。おそらく、日本の保健所にあたるころへ電話をし、お医者さんに来てもらって救急処置を受けたあと、そのお医者さんの判断でコロナ専門病院に救急車で送られるか、自宅で待機するということになると思います。

留学生の場合は、JIC さんでよい留学保険にいつも入ってきてくれるので、その保険会社へ電話をして指示を仰ぐことになると思います。サンクトペテルブルグには最近では日本の現地企業で医療サポートをしてくれる会社があります。その会社が保険会社と直接話をしてくれて、保険の適用範囲で賄えるように医療と通訳を用意してくれるというサービスがありまして、もちろん JIC の現地連絡員がサポートしますが、そういう保険で賄える新しい医療サービスが利用できます。

【イリーナ】JIC の留学生はみなさん留学保険に加入していますね。モスクワには保険証の提示で医療費を支払える EMS クリニックという病院があります。ここには日本人のお医者さんがいますので、普通は最初に EMS クリニックに連絡をとって受診します。もちろんサポートが必要な場合には、私の方に電話していただければ病院に同行することができます。

【司会 (岡本)】 ありがとうございます。私たちが経験上お話しできる情報はだいたい提供できたと思います。しかし、最新事情はどんどん変わっていくのでこれからも必要な方は情報収集を是非お続けください。

【質問 5】 どのくらいのスキルが留学には必要でしょうか？

【小西】 ロシア語スキルの話ですね。ロシア語をどれくらい勉強して行くべきか、ということが質問の意図だと思います。

先に結論を言うと、どのレベルからでも行くことはできます。長期留学の場合は、初心者に近い人、アルファベットや挨拶程度しか勉強してない方が行ける時期は、それぞれ受け入れ先の大学側で定められていることが多いので、それに合わせる必要があります。

短期の 1 週間、2 週間の研修の場合も、学校によって初心者は月初めに来てくださいと決めているところもありますし、いつでもいいですよということもあるので、受入れる学校によりけりですが、初心者でもロシア留学はできます。

ただ、教室の中では初心者向けの授業が受けられますが、教室の外で日常生活を送るには、ゼロの状態で行くと大変です。留学で成果をあげたいという気持ちでいらっしゃるならば、出発までの期間に少しでも頑張って勉強してね、とアドバイスさせていただきます。

【荒川】 こちらで日本人留学生さんに接していると、「クラスがアジア人ばかりで嫌なんです」みたいな話も聞きます。せっかくペテルブルグでヨーロッパ人と接することができると思ったから来たのに、自分の周りは寮でも授業でもアジア人ばかりという話を聞く事がありますけど、もしそういうふうになりたくないのであれば、やっぱりロシア語のレベルを上げて来る必要があると思います。アジア人のロシア語レベルはヨーロッパ人がロシア語を勉強するレベルにはだいぶ足りません。なので、ヨーロッパ人と接したい。授業でもヨーロッパ人と同じように話がしたいというのであれば、日本でレベルを上げて来る必要があります。もしそうではなくて、自分のペースで少しずつできればいいというのであれば、そういうご希望に応えられるような色々な留学スタイルが JIC さんから提供されていると思います。例えばゼロレベルだけでも、ホームステイをしながらホームステイの家族のサポートを受けて、少しずつ勉強したいという人もいますでしょう。そうではなくて過酷な状況に身を置きたいというのであれば、学生寮みたいところで自力で生活するような方法もあるかと思っています。

【質問 6】 荒川さんが先ほどズベルバンクのお話をされていましたが、現地で口座を開くときにパスポートだけで大丈夫ですか。何か必要な書類はありますか。

【荒川】 ロシアに住む外国人つまり私達は、パスポートだけでは暮らせません。パスポートの他に滞在届を出して、その滞在許可をもらった書類とか、出入国カードとかですね、それらが一式必要で、パスポートだけでは無理です。

【質問 7】 ベラルーシの大学の授業は基本的にロシア語で行われているのですか。

【柳沢】 その通りです。ロシア語で授業は行われています。なので、ロシアで留学するのと同じですね。

【質問 8】 ベラルーシの大学ではベラルーシ語の授業もあったりするんですか。

【柳沢】 いえ、無いです。私たちが手配する受け入れ先は、ロシア語を勉強する場所になっていて、ベラルーシ語の授業は選択肢には無いと思うので、ご自身が個人的なつながりでベラルーシ語を勉強するっていうのは可能ではあると思うんですけども、大学が提供する授業の中にはないですね。

【司会 (岡本)】 すみません、質問者さんはベラルーシ語を学びたいというお考えもあるということですか？

【質問者】 その考えも少しありますし、また大学のそういう事情がどうなのかが気になったという面もあります。

【司会 (岡本)】 そうでしたか、実はミンスク言語大学にはベラルーシ語コースもあるんですが、私達はまだそちらへの手配を一度もしていないのです。ですが、ベラルーシ語を本気で勉強したいっていう方にも一応道はあることにはなっています。私達もベラルーシ語コースに行かれた方の実体験を全く見聞きしていないので、もしご興味があれば第一号になってくださってもいいかもしれません。

【質問 9】 現時点でウラジオストクとミンスクが対面授業を行っているとのことですが、例えば最初はモスクワ大学への留学手続きを行い、申込期限後にモスクワ大学はその時点で対面授業は行っていないから、他の対面授業を行っている大学に行き先を変更したい、ということは可能でしょうか。

【小西】 結論から言うと、変更はできますが、その時点から改めて手続きのやり直しになります。例えば 4 月にモスクワ大学に行くつもりで 1 月に申し込んでいただいて手配を進めていたけれど、3 月末の時点でどうやらオンラインのままで対面授業には戻らなさそうということで、モスクワをやめて例えばウラジオストクにするというふうにご希望になった場合、4 月からウラジオストクに行くことはできません。その時点でウラジオストクの大学に改めて申し込みを行って、また 3 か月かけて手続きを行う必要があります。そのようにすれば変更はできますが、変更手続きの手数料はかかりますし、

モスクワ大学をキャンセルする時にすでに発生した費用があれば、それも全ては戻ってこないかもしれません。

行き先を急に切り替えることが難しい理由は、ロシアが発行する招待状にあります。留学用の招待状は、ロシア政府が個々の大学からの要請に応じて作成します。どの大学へも留学できる共通の招待状というものはありません。それぞれの大学は「この学生は確かにうちで勉強します」とロシア政府に対して身元保証をすることで、外国人留学生を招聘する許可を得ています。留学生の招聘は学校ごとの責任なので、モスクワ大学の手続きで発行された招待状を使ってウラジオストクの大学に行くことはできないのです。行き先を変える場合、手続きは始めからやり直しになります。

【質問 10】 ペテルブルグ生活で困っていること、日本から持って行った方がいいものはありますか。

【荒川】 私個人はだいたいロシアに染まっていますので、困ることはありません。日本食も時々恋しくなることがあります。少しずつ手に入りますので、それほど困りませんし....。

学生さんは、勉強する道具は必ず日本から持ってきた方がいいと私は思います。例えばロシアでもパソコンとかもちろん買えるんですが、ロシアのパソコンは説明がすべてロシア語なので使いづらいと思います。私もさすがにパソコンはいつも日本で買い替えて持ってきます。コンピュータ関係に強かったら自力で解決できることかもしれませんが、ロシアで売っているパソコンは日本語のフォントとかも入っていないので、たぶん色々とアップデートしなきゃいけないと思います。なので、私はパソコン類は日本で買って持ってきます。

【質問 11】 他の旧ソ連圏の大学の手配は可能ですか。

【小西】 可能です。ただし、語学留学でしたら可能です、というふうに申し上げておきます。その大学の手配というのが、本科に入りたいというご希望であればお受けするのは難しいですが、語学留学でしたらロシアの大学の場合も含め旧ソ連圏の大学の手配が可能です。私達が普段から手配しているベラルーシはもちろんロシアではなくて旧ソ連圏ですし、ウクライナや中央アジアの国でも語学留学であれば受入条件を調査してお引き受けしています。

【質問 12】 ペテルブルグの生活費は 1 ヶ月どのくらいですか。

【荒川】 そうですね、その人が何に優先順位を置くかによってだいぶ左右されます。バレエに行きたい人はバレエのお金がかかるでしょうし、住むところをどこにするか、綺麗で便利なところに住みたい人はその分家賃がかかりますので、生活費も高くなると思います。日本の基準で考えればとんでもないロシアの学生寮で頑張って生活できるっていう人は安く抑えることができるでしょう。さきほどの私の報告でインタ

ーネットのページを紹介しましたが、そこを見てももらえれば分かるかなと思うので、チャットに URL を貼りますね。

⇒ URL ; <https://journal.tinkoff.ru/moscowstudent/>

ペテルブルグとモスクワはさほど変わらないと思います。交通費で言えばペテルブルグの地下鉄は今 55 ルーブルかな？1 回乗ったらどこまで乗っても同じ料金です。バスも 50 ルーブル前後ですね、そういうような感覚です。

【司会 (岡本)】 例えば、自炊をするのに食材を買うと、日本の物価と比べてどうですか？

【荒川】 そうですね、必要最低限の、例えばジャガイモとかニンジンとか玉ねぎとか、あとは牛乳とか、そういう物は日本よりはかなり安い感じですね。でもチーズの良いものを食べたいというふうになると日本と同じくらいかかると思います。ただ、日本みたいなコンビニはありませんから、日本のようにコンビニでおいしいスイーツ買って、知らないうちに金額がかさむってようなことはないかもしれませんね。日本に比べてお菓子の種類は少ないです。

【司会 (岡本)】 学生用の食堂で 1 回食事すると何ルーブルくらいになるか、平均的な食費はどれくらいでしょう？

【荒川】 そうですね、大学によって違いますけれども、大体 1 食 300 ルーブルくらいかなと思います。

【小西】 今 1 ルーブルが約 1.4 円～1.3 円なので、交通費 55 ルーブルが大体 70～80 円、今の 300 ルーブルは 400 円くらいになるイメージです。

【司会 (岡本)】 ついでなのでモスクワのイリーナさんも生活の費用を教えてください。

【イリーナ】ほんとに難しい質問で、人によって日常生活にかかる費用は違います。サンクトペテルブルグと同じように、バスや地下鉄に 1 回乗ると 50 ルーブルくらいかかります。スーパーマーケットで食料品を買うと、大体日本と同じくらいになると思います。ちゃんと数字を出すことはできません。本当に人によって違います。

【荒川】 ちなみに私が品揃えのよい大型のスーパーに行って買い物すると、大体 1 回に 2000 ルーブルぐらい使います。

【イリーナ】 私も大体同じです。2000 ルーブルぐらい。

【司会 (岡本)】 たまに外食したら 1 回の食事にどれくらい払うことになりますか？

【イリーナ】 私は普通一人で 1500 ルーブルぐらい払っています。これはレストランとかカフェ、そんなに値段が高くないカフェの場合ですが、1500 ルーブルぐらいかかります。

【荒川】 そうですね、ペテルブルグも同じぐらいかかりますね。

【質問 13】 留学受け入れ先の大学図書館を通常の学生と同じように利用することはできますか。

【イリーナ】 モスクワ大学の場合、留学生は大学と契約を結

んで学生証をもらいます。学生証があれば通常通りに大学図書館を利用することができます。でも私の経験上では、留学生はあまり図書館を利用しないですね。

【荒川】 日本の図書館と違って、ロシアの図書館はすぐに本を手にとることができないのです（※閉架式）。図書館の係の人に 1 週間前ぐらいにこの本を書庫から出してくださいと申請して、1 週間後にまた行ってそれを見て、もしそれが自分の欲しかった本であれば閲覧します。借りて帰ることも大学の図書館ではできますけど、他の国立図書館ではできませんのでその場で閲覧して返すという形になります。また次も見たいからちょっと取っておいてもらうことはできませんが、見たい本をまず名前で検索して出してもらおうシステムで、日本の図書館みたいに行ってすぐ見られる形式（※開架式）ではないですね。

日本人学生にとってはまずそのシステムのハードルが高いので、ロシア人の学生さんと友達になって手伝ってもらうという方法はどうか。もしかかすると外国人留学生の学生証では借りられないという学校もあるかもしれませんが、そういう場合も、ロシア人学生の名前で借りてもらえばいいですし、現地の友達も増えます。

【質問 14】 普通に留学生を送る場合に、どんな場面での新型コロナ感染リスクが考えられますか？

【イリーナ】 世界的にリスクは同じだと思います。モスクワ大学では今、授業はオンラインで行われています。スーパーマーケットとかカフェとか劇場に行くときに、たぶん 50% の人はマスクを使用します。マスクと手袋を両方使用する人もいます。感染リスクは常にありますが、今はすべての建物内に消毒液がありますので、これを使ってマスクも使用するとリスクが少なくなると思います。

【荒川】 イリーナさんがおっしゃるように、どこでもコロナリスクはあると思いますけれども、おそらく乗り物に乗ることが一番危ないんじゃないかと思います。バスとか地下鉄などですね。ロシア人もそう思っているのか、私が見る中ではバス、地下鉄でのマスク着用が一番多いと思います。ロシアの人は日本人ほど神経質になっていないですし、元々マスクする文化ではありませんでしたから、マスクをしてる人は日本に比べてだいぶ少なく皆さん感じるんじゃないかと思います。外を歩く場合、例えば信号待ちで人がたまっているような場所でも、外であればあまりペテルブルグの人はマスクをしません。乗り物が危ないという意識があって、たぶんそれは本当のように思います。

スーパーで感染するとも言われていますね。スーパーのかごやカートの持ち手のところを持った時に感染してしまう恐れがありますので、やっぱり手の消毒は必要だと思います。手袋をしている人はあんまりいませんけれども、これから寒くなれば必然的にいつもの年と同じように防寒のための手袋

をします。だからもう少し感染も少なくなってくるんじゃないかなとは思いますが。ただモスクワもペテルブルグも日本と違って自動ドアが非常に少ないです。スーパーは自動ドアですけれども、地下鉄のなどの出入口は自動ドアではなく手で押して入る造りですので、手を使う場面が日本よりだいぶ多いです。そういう事情なので、消毒ジェルを持ち歩いて常に自分で消毒に気をつけることは大事だと思います。

【質問 15】 非 HIV 検査証明書の提出が必要とのことですが、渡航の何ヶ月前ぐらいに受けるのがよいですか。

【小西】 非 HIV 検査証明書が必要かどうかは行き先の大学によって異なります。必要としている大学に行く場合は、渡航の 1 ヶ月前以降に取っていただくようお願いしています。検査から 30 日経ってしまうと、証明書が無効になりますので、例えば 4 月に行かれる場合は 3 月上旬に、これから検査を受けてくださいと案内しています。

【質問 16】 ウラジオストクの極東連邦大学の場合、ルースキー島にある寮か、校舎に近い古い寮を利用するとのことでしたが、それぞれのメリット、デメリットはどのようなものがあるのでしょうか？ またこちらの寮に入りたいといった希望は通るものなのでしょうか。

【柳沢】 それぞれのメリットデメリットですが、ルースキー島の寮の方がずっと新しいです。建設されてそれほど年数がたっていないにもかかわらず既に劣化が始まっているようですが、それでも新しいです。しかし、通学にはバスで片道 1 時間かかります。自動車専用の橋を渡るので徒歩通学は無理ですね。

一方で、市内の校舎に近い寮は本当に古いです。宿舍がその古い寮に決まってしまうと、もうここでは暮らせないと行って、アパートを探して出ていった方もいらっしゃいます。そんなふうに音を上げてしまう方が出るくらい老朽化しています。ただ、この寮のメリットは何といってもキャンパスに近いことです。

どちらの寮に入りたいという希望は一応出せるようですが、極東連邦大学は非常に大きな大学で融通が利かない組織なので、希望を出しても通るかどうかは難しいと思った方がいいと思います。

【小西】 補足しますと、どこの寮に入るかという部分は基本的には選べないですが、寮の中で、同室は誰がいいとか、どの国の人がいいみたいな、そういう希望は入居時に交渉できる場合があります。私はよく留学生について行って入寮手続きの手伝いをしましたが、結構、そういう例が多かったです。

(2020 年 12 月 5 日/JIC ロシア留学セミナー)